

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第134号

平成30年9月10日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：045-263-4470

子どもの「なぜだろう？」を刺激



協議会ニュース第128～130号で紹介した「青少年のための科学の祭典」で実演された**科学実験ショー**は、子どもにも大人にも大人気の催しものです。実験は、子ども達から「なぜだろう？」を引き出します。予想外の実験結果に、驚きの声があがりや拍手が起ります！そして実験演者のトークにあふれる笑い声！

←直径 30cmほどのヒマワリの頭状花序(事務局撮影)

いかにも「夏っ！」という姿 100%の花と言えば、茎が太く、背丈も高く、そしてそのてっぺんに大きな花をドーンと咲かせているヒマワリ(向日葵)。無数のヒマワリが同じ方向を向いて咲いているヒマワリ畑は圧巻です。
講座やイベントに参加した子ども達のような元気を感ぜさせてくれます。

事務局(青少年センター科学部)では、県内各地を訪問し、子ども達に科学の楽しさを伝え、科学の原理等の理解を深める「**移動科学教室**」を開催しています。
この夏に行われた移動科学教室の様子を紹介します。



夏の移動科学教室 [主催型]

今年度の事務局による主催型の移動科学教室は10会場を予定しています(鎌倉、大磯、座間、横浜、相模原、伊勢原、三浦、真鶴、小田原、川崎)。夏の期間は、次の座間と横浜で行いました。

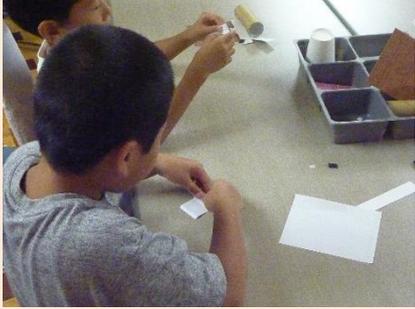
日にち・場所	実験ショー	科学工作
6月23日(土) 座間 座間市立青少年センター 工作では磁石の引力・斥力を用いた「磁石のきつつき」が印象に残った、という感想が多くありました。また、プラコップで作った「飛ぶコップ」を、最後に全員で飛ばしましたが(写真右)、これも楽しかったようです。		
7月1日(日) 横浜 中川地区センター 実験ショーの中で、大気圧により4L(4kg)のペットボトルが持ち上がるかどうか、子ども達に予想してもらいました。「持ち上がると思う人？」という問いかけに、積極的に答えている子どもたちの様子です(写真左)。		

夏の移動科学教室 [依頼型]



事務局(青少年センター科学部)は、県内各地の色々な施設や団体からの、実験ショーや科学工作教室の依頼を受けています。昨年度は16回の依頼がありました。

この夏には、次の4回を行いました。

日にち・場所	実験ショー、科学工作の様子	
<p>7月28日(土) 磯子 磯子公会堂</p> <p>いずれの工作も楽しむことができたようですが、特に「声で踊るヘビ」は、声でヘビが回転する様子に驚いたり、不思議に感じたりしていました。</p>		
<p>8月9日(木) 横浜 藤棚地区センター</p> <p>「フチロボで競走しよう」の移動教室版です。はんだ付けの作業では、金属同士がくっつくことに興味をもってもらえました。自分で組み立てたものが動く喜びを感じてもらえ、夏休みの思い出にもなったようです。</p>		
<p>8月18日(日) 大和 文化創造拠点シリウス</p> <p>大和市教育委員会の教育研究所の主催です。虹色が見える不思議なレインボースコープを作りました。保護者からも工作の原理や、材料の購入場所などの質問が多くあり、関心の高さがうかがえました。</p>		
<p>8月20日(月) 秦野 表丹沢野外活動センター</p> <p>「星空教室」の移動教室版です。横浜体育クラブの主催で、小学生50人の合宿中に行いました。ところが、当日は残念ながら雨。そこで、建物の中で星や星座に関するクイズ大会を行いました。</p>		

事務局から

この協議会ニュース134号を作っている今日は9月6日(木)です。今日の午前3時8分に北海道で震度7の大地震が発生しました。一昨日の9月4日(火)には、関西地方を中心に台風21号による大被害がありました。

人類は自然の力には勝てませんが、科学の力で少しでも被害を抑えることができるようになり、少しでも早く被害から復旧することを願うばかりです。
(事務局 : 村上、高相、山田、宮城)



事務局(科学部)10月移転